



2050 輝く GREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言

美しく恵み豊かな瀬戸内海は、広島県の宝です。

しかし、今、私たちの生活に欠かせないプラスチックが、海洋へ流出することにより、生態系を含めた海洋環境の悪化や漁業や観光への影響など、様々な問題を引き起こしており、世界規模の課題となっています。

令和元年6月のG20大阪サミットでは、2050年までに新たな海洋プラスチック汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が採択され、国においても、令和元年5月に「プラスチック資源循環戦略」を策定するなど、プラスチックに対する取組を強化しています。

広島県は、これまでのかき養殖に由来するごみの流出防止対策に加え、海洋プラスチックごみの新たな流出がゼロになる仕組みの構築や海洋生分解性プラスチック等の開発・普及促進、プラスチックに係る資源循環の促進及び多様な主体と協働した海岸清掃など、本県の宝である瀬戸内海の環境保全に向けた取組を、企業や関係府県・市町等と連携しながら、本県が先頭に立って推進するとともに、県内外に発信していきます。

次世代へ、美しく恵み豊かな瀬戸内海を継承していくために、瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみの量を2050年までにゼロにすることを目指して、県民及び事業者の皆様と一緒に取組を進められるよう、「～みんなで守ろう、ミライへ。美しく恵み豊かな瀬戸内海を～2050 輝く GREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言」を行います。

令和3年6月23日

広島県知事

湯崎英彦

